

「全国の生協からの被災者支援への御礼とみやこ映画生協支援募金のお願い」

1. 日本生協連の「第12次中計」・「2013年度活動計画」に関して、多くの点で賛成できない諸問題がありますが、今回は、「被災者支援への御礼とみやこ映画生協支援募金のお願い」に絞って申し上げたい。
2. みやこ映画生協はわが国唯一の映画生協であり、3・11震災・津波被害の被災地で、組合員並びに地域の被災者への心の支援・癒しの支援として無料の「出前上映会」を避難所・仮設住宅集会所・被災地の学校や公民館など、9市町村で178箇所、7,057名の方々に対して「夢と元気を！」「子どもたちに笑顔を！」を合言葉に展開し、沢山の被災者から喜ばれました。
3. しかし、日本の映画界は今春からフィルムでの映画制作を中止し、デジタル化を実行しています。したがって、今後の新作映画の上映はデジタル映写機が必要になりました。映画生協は人口減少やDVDの普及、特に、大震災による影響などで、経営的な困難を抱え、このデジタル映写機の購入費(約2千万円)の手当てが困難なことから、組合員や地域住民、映画界などに募金をお願いしています。
4. 岩手県生協連理事会はこうした映画生協の取り組みを支援することを決定し、別紙のような募金のお願いを日本生協連理事会はじめ、全国の生協の皆様へ別途郵送させていただきました。
5. みやこ映画生協の経営危機に関しては、県行政・県生協連の指導の下に、厳しい経営状況を全組合員へお知らせし、年間に1家族・2～3回の鑑賞入場を訴え、経営再建をすることを6月8日の総代会で特別決議を行ないました。
6. みやこ映画生協は、デジタル化による鮮明な画面と音質の改良を図りつつ、引き続いて被災者支援の「出前上映会」(今後は低額有料も検討)をはじめ、子どもやお年寄りの心の癒しや笑顔を増やす活動に一層の役割を発揮する決意です。
7. 岩手県生協連も全会員の支援に取り組み、既に、いわて生協の100万円、岩手学校生協の30万円などが寄せられていますが、全国の生協の皆様の被災地支援活動の一環として、「みやこ映画生協支援の募金」にご協力賜りますように、この総会の貴重な時間を拝借して、心からのお願いを申し上げます。